

図書館ひろば



図書館の充実した整備促進を求める陳情

昨年（平成29年）8月の市長記者会見で「淵野辺駅南口公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）」が明らかになりました。南口周辺にある市立図書館、大野北公民館、青少年学習センターなど6つの公共施設をまとめて、鹿沼公園内に複合施設を新たに設け、併せて淵野辺駅南口周辺の活性化を図ろうというものです。

その後各地で説明会が行われ、図書館でも12月に説明会があり、それと並行して、複合施設の在り方などを考えるワークショップが図書館を会場にして開かれました。また、パブリックコメントも募集があり、非常に多くの意見が寄せられました。

当初の予定では、3月中に市民の意見をまとめて、4月には正式な計画にするとということでしたが、パブコメも非常に多く寄せられ、また、幅広い反対意見や慎重論も踏まえて、市は予定していた計画策定を先送りしました。

しかし図書館も公民館も建設から50年近くたって老朽化が進んでおり、関係者一同改築あるいは大規模改修など抜本的な対策を望んでいました。

私たち「つなぐ会」も、当初から強い関心を持ち、成り行きを見守ると同時に、説明会やワークショップやパブコメにも積極的に参加しました。

計画案のなかでは、図書館については、図書館基本計画にしたがって、これを中央図書館として整備するとなっていますが、その内容については

漠然としたものでした。また、複合施設は、各施設の現状の面積を寄せ集めた広さということで、図書館についても現状の面積は確保できるものの、政令市の中央図書館として、はたして十分なのかどうかは疑問でした。それにしても中身がしっかり示されないと必要面積がわかりません。そこで、全体計画の進行に関わりなく早急に中央図書館の機能をまとめてほしい旨を陳情することになりました。

運営委員会で協議して4月の総会で陳情案を示し、その提出時期、案文の整理等については運営委員会に一任いただくことになりました。

当初は中央図書館に求める機能として3項目でしたが、その後各方面からご意見をいただいて6項目になりました。①調査研究機能 ②学校図書館支援センター機能 ③子ども図書館センター機能 ④読み聞かせボランティア支援機能 ⑤障害者読書バリアフリーセンター機能 ⑥図書館にかかわる読書・文化団体等の交流拠点機能です。

8月7日に議会事務局に提出し、9月11日の市民文教委員会で審査されました。当日は「つなぐ会」も傍聴に行きました。3名の委員から質問と意見が述べられ、全会一致で採択と決まりました。

陳情採択はこれで終わりではありません。これを受けて、教育委員会、図書館がこの内容を早期に具体化するよう、注視すると同時に、働きかけも続けていきたいと思っております。（山本）



「調べ学習講座」が開かれました

【7月14日（土）市立図書館

～新聞をつくろう～】

小学1年生から6年生まで11名参加

今年は神奈川新聞社のかたが来てくださり、実際の新聞を使って、1枚の写真にどのように見出しをつけるか、編集現場の貴重なお話も聞きました。学校で学習したことをテーマにした子どもたちは、すでに出来上がりのイメージがあるようで、上手に新聞台紙に写真やイラストを配置し、記事を書いていきます。



じっくり資料を読み込んでいた子どもたちは、“時間内に終わるのだろうか”というスタッフの心配をよそに、後半一気に完成させました。毎年人気テーマの「カブトムシ」。今年も2名のお子さんが取り組みましたが、全く違った視点での新聞が出来上がりました。個性が出るのもこの講座の面白いところです。「世界のゲーム機」を調べていたお子さんは、自分の調べたいことが載っている資料を見つけられず苦労していましたが、「ゲーム

の歴史」にテーマを変えて仕上げました。掲示された新聞が男子（お父さん、スタッフも含め）の注目を浴び、とても嬉しそうでした。



7月19日神奈川新聞相模原・県央版に活動の様子が掲載されました。

【7月29日（日）相武台分館

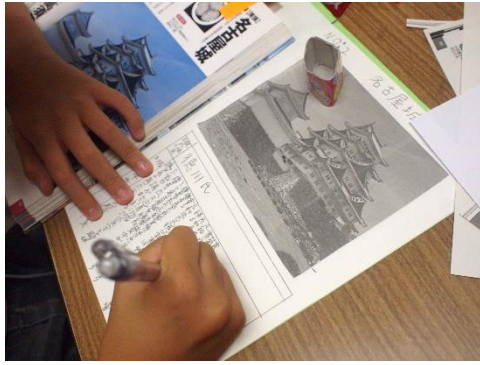
～図書館で好きなことを調べてみよう～】

小学1年生から中学3年生まで9名参加

当日朝まで台風で雨風が強く、開催が危ぶまれましたが、開催の時間にはすっきり晴れました。

学校で福祉のことを勉強したお子さんは、視覚障害に関する福祉のことを、この講座の前に八丈島に行かれたお子さんは、そこで見た魚が印象的だったので、魚のことを調べると言って、本を選びました。冊子や巻物、パンフレットなど色々な台紙を決め、調べたことを小さな紙に書き込み、台紙に上手に配置して貼っていきました。

狼のイラストを迷うことなくフリーハンドで書いたり、ダンゴムシの写真を効果的に使って説明したり、読みやすくする工夫もします。北海道のパンフレットやお城の図鑑はそのまま旅行に持って行きたくなるような作品でした。参加2回目の子どもたちは出来上がりのイメージがあるので、手際よく進めていました。昨年絵本にまとめたお子さんは、今回は巻物に挑戦。楽しい戦国武将の作品になりました。



上手に配置し貼っていきます。

宿題のワークシートや自分のノートにまとめるお子さんもいます。高学年の子どもたちは深い調べをしているため、残念ながら時間内に終わりませんでした。「続きは家でやって、完成させてくださいね」と約束しました。

調べたことのまとめに入ると、サポーターはやる事がなくなるほど、子どもたちは集中し、一気に仕上げていきました。小学生の底力を改めて感じました。



【8月5日（日）橋本図書館

～ネットと本で調べ学習講座～】

小学3年生から6年生まで、12名参加

学校の宿題で「カブトムシ」「第二次世界大戦」「津久井の大豆」を調べるお子さんや、好きなことをグッと深掘して「飛行機」「クワガタムシ」「馬の進化」に取り組む兄弟などバラエティーにとんでいます。本を読みながら、必要な事ごとに付箋を貼っていきます。他にも情報が欲しい時には、ネットも利用します。後半は調べたことを小さなカードに書き出し、それを冊子や大きな画用紙に



各館のようすは、つなぐ会のホームページにアップされています。ご覧ください。



第7回学校図書館学習会 開催のお知らせ

10月28日（日）13:00～16:30

ソレイユさがみ セミナールーム4

県立磯子高校学校司書 田子環さんを迎えて
環境整備、特に分類について学習します

申し込みは <https://279-schoollib.jimdo.com/> より



第58回 社会教育研究全国集会（甲府集会）に参加して

本年で結成 55 周年となった社会教育推進全国協議会（社全協）の第 58 回全国集会在 8 月 25 日から 27 日、甲府市の山梨県地場産業センター（かいてらす）、山梨県立図書館などで開催された。私は昨年の神奈川集会に引き続き、世話人として 8 月 25 日の「地域と学校」の課題別学習会で司会をお引き受けした。この課題別は、「公共施設再編」や「労働問題」といった、5 つの現代的テーマ別に分かれて実践事例を共有したり討議を行う会で、中でも「地域と学校」は参加者の関心が高く、収容 50 人ほどの会場がほぼ満席となった。

2 時間余の短時間だったためか、あわただしい進行となったのは残念だが、3 本の事例研究・情勢報告に対し、質疑が 8 名（うち 4 名が 2 度発言する盛況ぶり）と活発で、北海道、宮城、千葉、愛知、北九州などから参集した多様な方と意見交換がなされた。次年度の第 59 回：奈良集会へとバ

トンをつなぐことができた。昨年の法改正で、地域学校協働活動の推進や学校運営協議会の設置（全ての学校をいわゆるコミュニティ・スクール化すること）が決まり、新学習指導要領から本格的に始まる小中一貫教育の展開を目前に、学校との関わりを重視する地域の関係者が多く集った、この社会教育の集会の意義は大きい。

集会二日目には、分科会が 16 個開かれ、図書館と博物館の分科会の記録は興味深い。「手をつなぎ図書館を支える 図友連」をスローガンに掲げる図書館友の会全国連絡会（とともれん）の活動、「情報発信と体験教育で産業支援 山梨ジュエリーミュージアムの取り組み」と題した山梨県立宝石美術専門学校教授の報告などがあった。詳細は社全協の『日本の社会教育実践 2018 第 58 回社会教育研究全国集会甲府集会資料集』を参照いただきたい。

（渡邊）

第 10 回「図書館ひろば」開催のお知らせ

第 10 回を記念して 2 日間！ 内容もりたくさん！！

会場：相模原市立図書館

11 月 24 日（土）13:00～16:30

11 月 25 日（日）10:30～15:30

最新情報は
つなぐ会の HP にて

今年もやります古本市 小栗久江さん「ひとりがたり」
ワークショップ「アプリで作ろう！子どものあそび場紹介ミニブック」
布絵本・布おもちゃ・おはなし会
点訳・本の修繕実演 図書館利用団体「交流の部屋」

編集後記

今年の夏は本当に暑かった。そんな中でも調べ学習講座に参加した子どもたちは、アグレッシブに活動してくれました。来年は体力をつけて子どもたちについていきたいと思いました。（Y.N.）

図書館ひろば 第 20 号 2018 年 9 月 29 日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間 4-23-3 Tel 090-4947-7147（代表 山本）

Email info@toshokan.org ホームページ <http://toshokan.org/>